

デスクオルガン E 型

DE-637S

アンサンブル オルガン

取扱説明書

YAMAHA

このたびはヤマハデスクオルガンE型DE-637Sをお買い上げいただきまして誠に有難うございます。ご使用にあたりましては、この取扱説明書をご一読のうえ、末永くご愛用下さいますよう、お願い申し上げます。お読みになった後は大切に保管して下さい。わからない事や不具合が生じた時、きつとお役に立ちます。

目次

仕様 2
 使用上のご注意 3
 各部の名称・操作と機能 4 ~ 6
 MIDIについて 7
 MIDIインプリメンテーションチャート 8
 故障とお考えになる前に 9
 保証とサービスについて 10
 ヤマハのサービスネット 11

1. 美しくクリアーな音色
音作りにヤマハ独自のAWM音源方式を採用。美しくクリアーな音色を実現しました。
2. 音色数
音色は鍵盤楽器、管楽器、弦楽器から13種類。さまざまなアンサンブル活動に大きな効果を発揮します。
3. ヘッドホンを使用したグループ学習が可能
ヘッドホンを使用することにより、他のグループの音に邪魔されることなく自分たちのグループ学習に集中できます。ヘッドホン使用時の学習形態はソロ・ペア・グループの3つに切り換えることができます。
4. モニター機能の充実
モニタースイッチの操作により、ソロ・ペア・グループの3つに切り換えてモニターすることができますので、生徒の個性を生かしたきめ細かな指導が可能。また、生徒同志でモニターしたり、7人目の生徒が他の電子楽器でアンサンブルに参加したりする場合などにも活用できます。
5. 教室での使用をあらゆる面から考慮した新設計
・ 一台で6人分という省スペースのコンパクト設計です。また、移動が容易なキャスターつきですので、音楽室を有効に活用できます。
・ 電源コードは一台(6人分)に一本ですので、教室がすっきりします。
・ 鍵盤蓋は6人分割で、閉じるとデスクとして使用できます。
6. MIDI対応
デスクオルガンE型としては初めてのMIDI端子を装備。これからの時代に対応し、可能性が広がります。

仕様

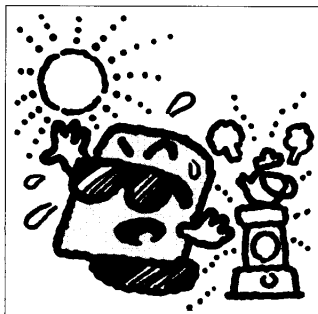
音源	AWM音源
鍵盤	37鍵 Cスケール(3オクターブ)×6
音色	13音色×6 リードオルガン、パイプオルガン、クラリネット、ストリングス、オーボエ、グロッケン、ピアノ、ハーブシコード、フルート、ホルン、トランペット、コントラバス1、コントラバス2
効果	ビブラート×6
コントロール	音量切換スイッチ×6、エクスプレッションペダル×6 ビブラート切換スイッチ×6、音域切換スイッチ2×6
その他コントロール	ピッチコントロール
モニターパネルスイッチ	ヘッドホンスイッチ(ソロ/ペア/グループ) モニタースイッチ(A/B/C/D/E/F/G外部) スピーカーON/OFFスイッチ 電源スイッチ
外部入出力端子	ヘッドホン×7、モニターヘッドホン×1、 MIDI (IN/OUT) ライン (入力/出力)
メインアンプ	20W×2
スピーカー	20cm×2
定格電圧・周波数	AC 100V (50Hz/60Hz)
定格消費電力	55W
寸法	間口175cm・奥行77cm・高さ76cm
重量	85kg
仕上げ	マウンテンウォルナット仕上げ
標準装備品	椅子×6、ヘッドホン×6

使用上のご注意

デスクオルガンE型DE-637Sを長くよい状態でご使用いただくには、次の事柄にご留意下さい。

● 温度や湿度に気をつけましょう。

直射日光の当たる場所や暖房器具の近くには置かないで下さい。湿気やホコリの多い場所も避けて下さい。



● お手入れはやわらかい布で。

本体、鍵盤ともに、お手入れはやわらかい布でカラ拭きをして下さい。汚れのひどい時は、水を布に含ませ固くしぼってから拭きとって下さい。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品は絶対に使用しないで下さい。



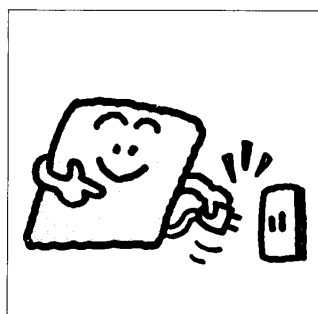
● 落雷に対するご注意

落雷の恐れのある場合は、早めに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて下さい。



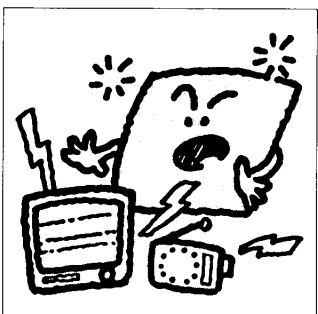
● ご使用後は必ず電源スイッチを切ってください。

ご使用後は必ず電源スイッチを切ってください。また長時間使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜き、コード巻取り用フックに巻いておいて下さい。



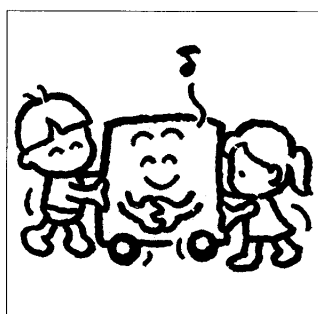
● テレビやラジオに影響を及ぼす場合があります。

DE-637Sの近くでテレビやラジオなどの電気機器を同時にご使用になりますと、雑音や誤動作の原因になることがあります。他の電気機器から充分離してご使用下さい。



● 静かに運びましょう。

DE-637Sを移動する時には、まずキャスターのストッパーを解除し、前後を支えながらゆっくり動かして下さい。



● 落書はしないようにしましょう。

マジックやボールペンで落書をしますと消すことができません。いつまでも大切にきれいにお使い下さい。

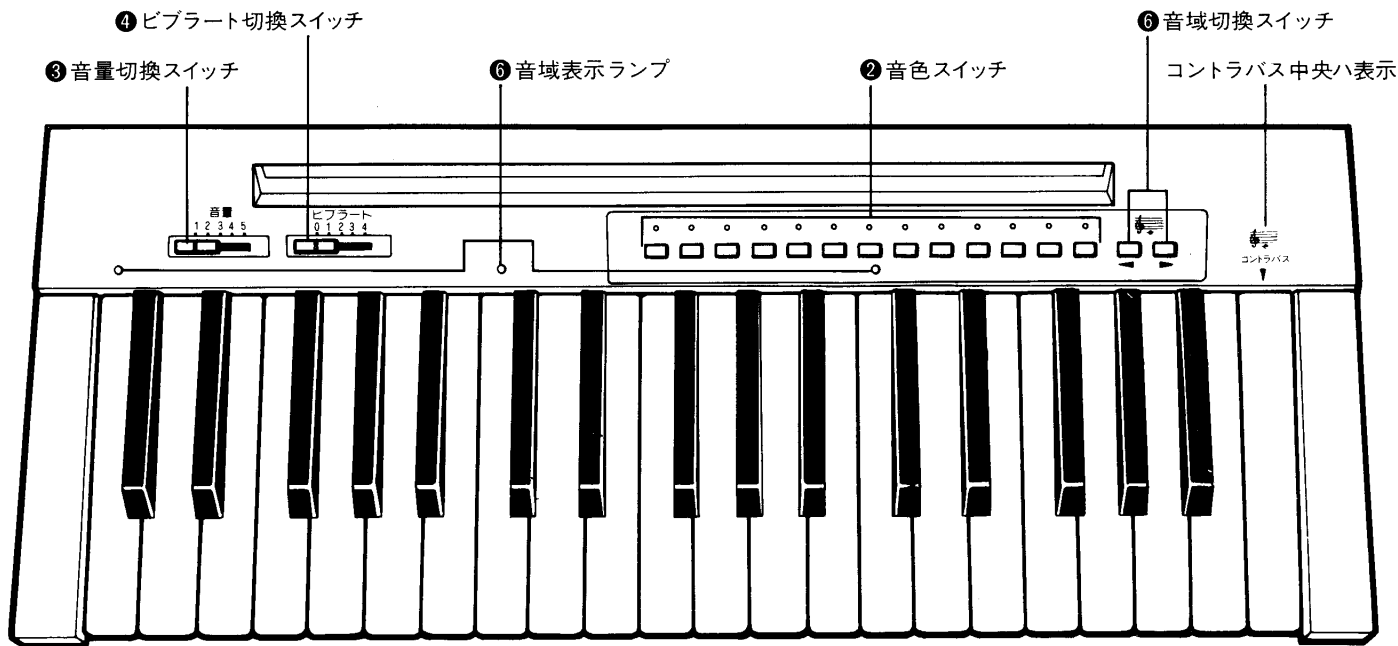


● 水に濡れたら

万一、雨が降ったり、花瓶などの水を楽器にこぼした時は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご連絡下さい。



各部の名称



コントロールパネル(6コ)

鍵盤蓋(3分割×2)

鍵盤(37鍵×6)

モニターパネル

⑨ ヘッドホンジャック(6コ)
(各自の棚板下)

外部入出力端子

ヘッドホン掛け(6コ)

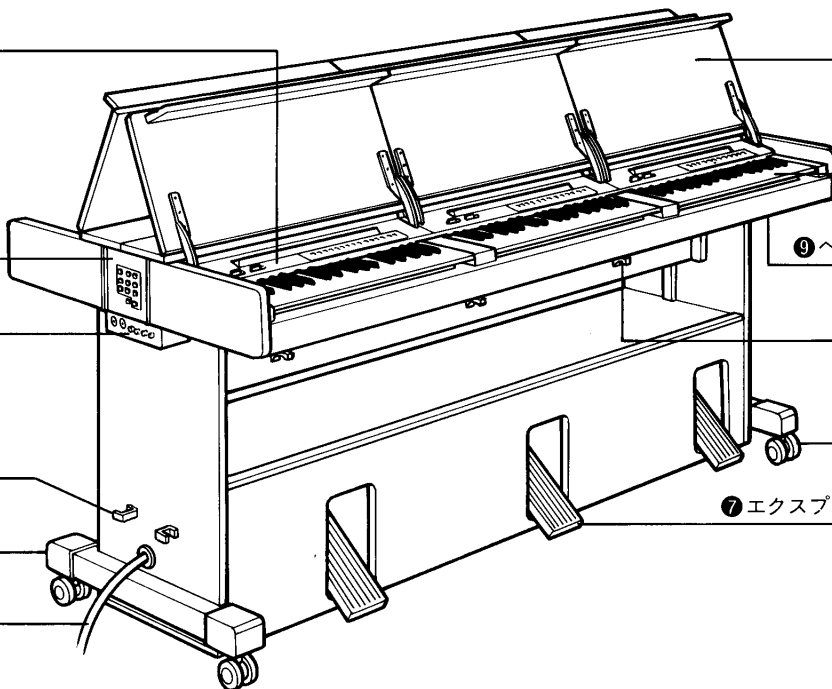
電源コード巻取り用フック

キャスター(4コ)
(ストッパー付き×2)

ゴムカバー

⑦ エクスプレッションペダル(6コ)

電源コード



モニターパネル/外部入出力端子

座席配置

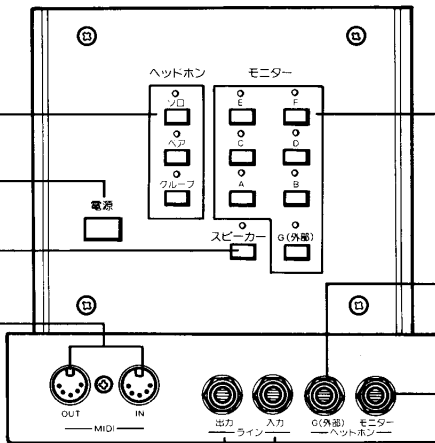
⑧ ヘッドホンスイッチ

① 電源スイッチ

⑤ スピーカースイッチ

⑬ MIDI 端子

⑭ ライン出力端子



⑩ モニタースイッチ

⑫ G(外部)用ヘッドホン端子

⑪ モニターヘッドホン端子

⑬ ライン入力端子



モニターパネル

① 電源スイッチ

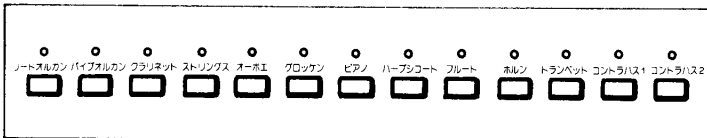
電源スイッチを入れると、音色スイッチの「リードオルガン」とモニターパネルの「ソロ」「A」ランプが点灯します。

電源を入れて2秒程すると演奏可能な状態になります。キーボードアンプ等を接続して使う場合、電源を入れる時はDE-637Sから先に、切る時は、キーボードアンプから先におこなってください。

また、電源スイッチON/OFFのときにはヘッドホンは、耳からはずしてください。

② 音色スイッチ

音色を選ぶスイッチです。スイッチを押すとスイッチの上にあるランプが点灯します。DE-637Sは、鍵盤楽器、管楽器、弦楽器など13種類の音色を持っています。



③ 音量切換スイッチ

音量を5段階に切換えるスイッチです。エクスプレッションペダルを一杯に踏み込んだ時の最大音量を、この切換スイッチで決めます。目盛りは1は小さく、5は大きくなります。

④ ビブラート切換スイッチ

音の高さを小刻みに上下させ、音に潤いを与える効果です。切換スイッチは0～4までの5段階で0にすると効果はかからず、1は小さく4にすると効果は大きくなります。

⑤ スピーカースイッチ

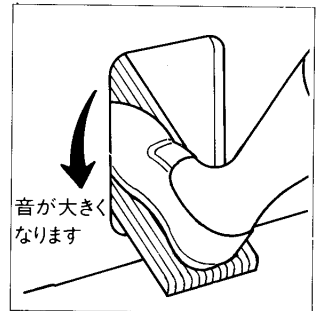
スピーカースイッチON(ランプが点灯)にすると本体スピーカーから音が流れ、スピーカースイッチOFF(ランプが消える)にすると本体スピーカーの音は切れ、ヘッドホンを使って静かに学習できます。

⑥ 音域切換スイッチ/表示ランプ

スイッチを押した方向に中央ハ(C3)の位置が移動し、鍵盤手前の表示ランプに示されます。これにより61鍵分の音域をすべてカバーします。コントラバス1, 2はパネル右端のプリント表示の位置に固定です。

⑦ エクスプレッションペダル

音量をコントロールするペダルです。踏み込む深さによって音量をコントロールできますので、演奏中に音に強弱をつけることができます。また、ペダルは踏み込んだ位置で止まります。



⑧ ヘッドホンスイッチ

ヘッドホンを使用して学習する時に使います。このスイッチを操作して、学習形態をソロ・ペア・グループの3つに切換えることができます。

スイッチ	ヘッドホンから聞こえる音	学習形態
ソ ロ	自分の演奏のみ	個別学習
ペ ア	自分と自分の向いの2人の演奏	ペア学習 (向い同志)
グループ	6人全員の演奏(外部入力使用の場合は7人)	グループ学習

⑨ ヘッドホンジャック

ヘッドホンを接続する端子です。各自の棚板下に1つずつ、一台で合計6つついています。

⑩ モニタースイッチ

モニターヘッドホン端子に接続したヘッドホンで演奏をモニターする場合に、モニターする対象を選択するスイッチです。ヘッドホンスイッチの状態(生徒の学習形態)に応じて、モニタースイッチを操作し、次のようにモニターをすることができます。

ヘッドホンスイッチの位置	モニターの状態	
ソ ロ	ソロスイッチを押した時の最初の状態	個別(生徒スイッチA～G(外部)を選択)
ペ ア	ペアスイッチを押した時の最初の状態	ペア (AorBを押す → A+B CorDを押す → C+D EorFを押す → E+F G(外部)を押す → G(外部))
	個別のモニターをしたい時	最初の状態から、聴きたい生徒以外のスイッチを押すとランプが消え、残ったランプの点灯している生徒のモニターができます。消したスイッチをもう一度押すと再び点灯しモニターできます。
グループ	グループスイッチを押した時の最初の状態	グループ全員
	個別のモニターをしたい時	最初の状態から、聴きたい生徒以外のスイッチを押すとランプが消え、残ったランプの点灯している生徒のモニターができます。消したスイッチをもう一度押すと再び点灯しモニターできます。 (したがって、各個人だけでなく、 A+C, B+E, A+B+Eといった 組み合わせのモニターもできます。)

11 モニターヘッドホン端子

モニター用ヘッドホンのプラグを差し込み、モニタースイッチを操作して生徒の演奏をモニターする時に使います。

12 G(外部)用ヘッドホン端子

ライン入力につないだ楽器用のヘッドホン端子です。

13 ライン入力端子

電子楽器などを接続し、デスクオルガンのスピーカーやヘッドホンでこれを再生し、アンサンブルに活用することができます。

14 ライン出力端子

アンプ内蔵スピーカーなどに接続し、より豊かな音量で楽しむこともできます。

15 MIDI端子(OUT/IN)

MIDI(Musical Instrument Digital Interface)は、デジタル電子楽器の世界統一規格です。MIDIケーブルを使って、MIDI対応のシンセサイザーやシーケンサーなどと接続すれば、多様な活用ができます。

● ピッチコントロールについて

他の楽器と合奏する時など、音程を微調整したい時には次のようにします。

(1)電源をOFFの状態にします。

(2)モニターパネルの6種類のスイッチが下記のピッチに対応しています。

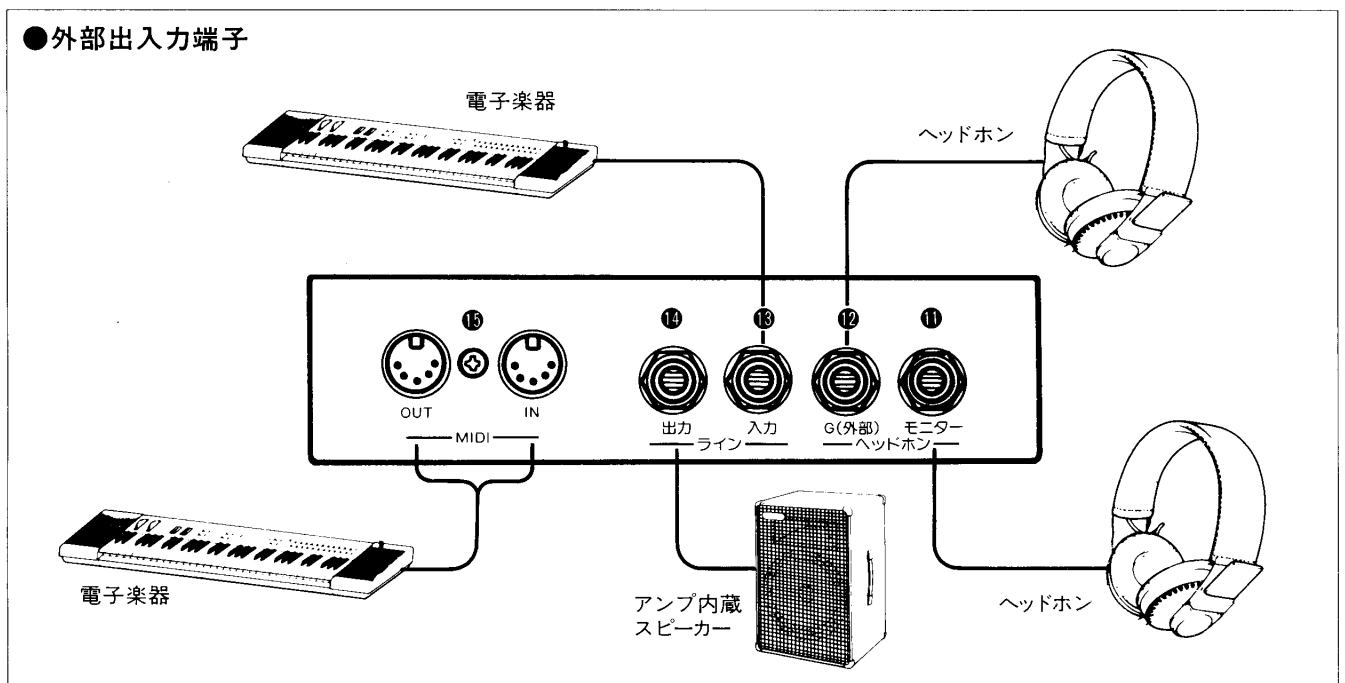
- 「グループ」スイッチ (A = 439Hz)
- 「A」スイッチ (A = 440Hz)
- 「B」スイッチ (A = 441Hz)
- 「ペア」スイッチ (A = 442Hz)
- 「C」スイッチ (A = 443Hz)
- 「D」スイッチ (A = 444Hz)

合わせたいピッチに対応するスイッチを押しながら電源スイッチをONにして下さい。

〈例〉「グループ」スイッチを押しながら、電源スイッチONにするとピッチは439Hzになります。

(3)普通に電源スイッチをONにした場合のピッチは440Hzです。

● 外部出入力端子



※ライン入出力は標準ジャックです。規格の違うプラグを接続する場合はプラグアダプター(市販品)をご使用下さい。

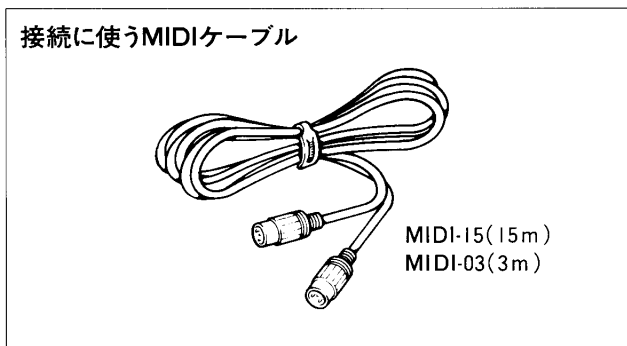
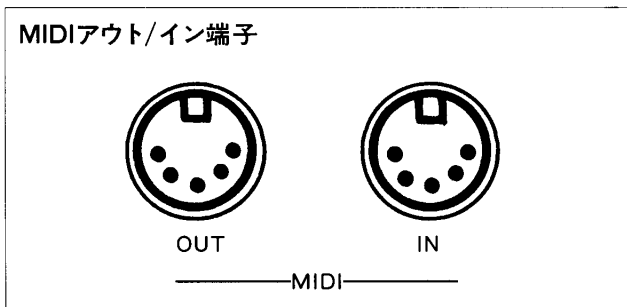
●MIDI(ミディ)とは…?

デスクオルガンE型DE-637Sには、先進のエレクトロニクス楽器ならではの楽しみ方のできるMIDI端子がついています。このMIDI(ミディ)とは、Musical Instrument Digital Interface(ミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス)を略したもので、電子楽器どうしをMIDIケーブルで接続し、音程や音の長さといった演奏の情報などをお互いに交換するためのものです。また、MIDIは世界の電子楽器の統一規格ですから、どこのメーカーの製品でも、MIDI端子がついていれば演奏情報の交換をすることができます。

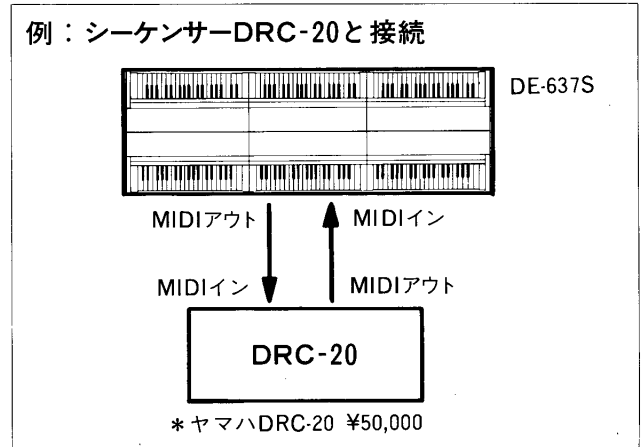
●接続方法について

DE-637SのMIDI端子には、アウト端子(送信側)とイン端子(受信側)があります。

接続は、専用のMIDIケーブルを使いますが、オーディオのDINケーブルと酷似していますので注意して下さい。なお、オーディオのDINケーブルをMIDI端子には絶対接続しないで下さい。故障の原因になります。DE-637Sから演奏の情報を送る場合はアウト端子に、情報を受けてDE-637Sの音源を使って音をだす場合はイン端子に接続してください。(MIDIを使って情報交換できるのは、あらかじめMIDI端子をそなえた機器に限られます。)



●MIDI活用例 (DE-637Sをシーケンサーとつないで演奏の録音、再生)



図のようにDE-637SのMIDIアウトとDRC-20のMIDIイン、DE-637SのMIDIインとDRC-20のMIDIアウトを接続するとDE-637Sでの演奏が録音でき、録音したものを再生することができます。下記のような活用ができます。

尚、DRC-20の実際の操作につきましては、DRC-20の取扱説明書をご参考下さい。

活動	学習内容
①6人の演奏を同時に録音 6人の演奏を一度に再生	1) 自分達の演奏を聴き合う 2) 音色やテンポを変更して表現を工夫する 3) グループアンサンブルの演奏を記録する
②6人の演奏を同時に録音 特定の児童の演奏の再生	1) 自分の演奏を聴く — 自己評価 2) 他人の演奏を聴く
③個人個人の演奏の録音	1) 他人の鑑賞—お互いの評価 2) それに合わせる活動 3) 即興的演奏の記録

●コントロールチェンジナンバーについて

各操作子のコントロールチェンジナンバーは、ビブラート切替スイッチを操作した時は01、音量切替スイッチを操作した時は07、エクスプレッションペダルを操作した時は11で出力されます。電源を入れた状態で「ソロ」スイッチ「ペア」スイッチ「グループ」スイッチを同時に押し、音量切替スイッチとエクスプレッションペダルが送信するMIDIコントロールチェンジナンバーが入れ替ります。もう一度操作を行なうと元に戻ります。何度でも繰り返し操作できます。

DE-637S MIDI インプリメンテーションチャート

[デスクオルガン E型]
Model DE-637S MIDI インプリメンテーションチャート

Date : 1992. 11. 1
Version : 1.0

ファンクション		送 信	受 信	備 考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1~6チャンネル ×	1~6チャンネル ×	*1
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *****	モード3 × ×	
ノートナンバー	音域	24-96 *****	0-127 24-96	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH,V=96 × 9nH,V=0	○ V=1-127 ×	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチベンダー		×	×	
コントロール チェンジ	01 07 11	○ 0,16,32,64,127 ○ 0-127 ○ 0-127	○ 0-127 ○ 0-127 ○ 0-127	ビブラート ボリューム *2 エクスプレッション *2
プログラム チェンジ	設定可能範囲	○ 0-12 *****	○ 0-12 0-12	
エクスクルーシブ		×	×	
コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアルタイム	クロック コマンド	× ×	× ×	
その他	ローカルON/OFF オール・ノート・オフ アクティブセンシング リセット	× × ○ ×	× ○ ○ ×	123のみ
備考		<p>*1 6つの鍵盤/パネルにそれぞれBasic Channelがあり、固定である。 A-1 チャンネル, B-2 チャンネル C-3 チャンネル, D-4 チャンネル E-5 チャンネル, F-6 チャンネル</p> <p>*2 音量切換スイッチに割り当てられた方は64,80,96,112,127のみを送信する。</p>		

モード1 : オムニ・オン、ポリ
モード3 : オムニ・オフ、ポリ

モード2 : オムニ・オン、モノ
モード4 : オムニ・オフ、モノ

○ : あり
× : なし

故障とお考えになる前に

故障ではないかとお思いになったら、下記の事項をご確認下さい。それでも正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められた場合は電源スイッチを切り、電源プラグ

をコンセントから外して、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響アフターサービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼下さい。

どんな状態ですか	ここが原因	こうすればOKです
音がまったく出ない。	エクスプレッションペダルが踏み込まれていない。	適切な音量にセットして下さい。
時々、ガリツとかポツンという雑音が入る。	ごく近くで電気器具の電源をON/OFFしたり、電気ドリルなどを使っている。	原因と思われる電気器具からなるべく離れたコンセントを使って下さい。
ラジオやテレビなどに雑音が入る。	本機のごく近くでラジオやテレビなどを使っている。	なるべく離れたコンセントを使って下さい。
音が割れる。 (共鳴する、あるいはビリつく)	オルガンの音は持続音が多いため周囲の戸棚、窓ガラス、その他の器物に共鳴して音が割れて聞こえることがあります。	音量を小さくするか共鳴物を取り除いて下さい。
同一音色で、同一音程を複数の鍵盤で同時に弾いた時に音量、音色が変化して聞こえることがある。	スピーカーに出力される時にお互いの音が干渉して発生する現象です。	故障ではありません。

1. 保証

オルガンの保証は、保証書によりご購入日から満1ヶ年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。また、保証は日本国内のみ有効といたします。

2. 保証書

オルガンの納入調整サービスの際、技術者が保証書内へ必要事項記入のうえ、発行いたしますので記載事項をご確認下さい。

3. 保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社がオルガンをご購入いただいたお客様にご購入の日から向う1ヶ年の無償サービスをお約束申し上げるものです。万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費をいただくことがございますので必要に応じて、いつでもご提示いただけますよう保管して下さい。

また、後々のサービスに際しての機種判別やサービス依頼店の確認にご利用いただけますし、調整記録を記入する欄もございますので、保証期間が過ぎましても大切に保管下さい。

4. 納入点検調整サービス

オルガンをお納めさせていただきますと、楽器店の技術者が楽器のご説明かたがたオルガンを最良の状態にするよう点検調整にお伺いいたします。

お求めのオルガンについて、ご不明の点およびお聞きになりたい事がありましたらその節にお申しつけ下さい。

5. 保証期間中のサービス

1. 保証期間中に万一故障が発生した場合にはお買い求めいただいた楽器店にご連絡いただきますと楽器店またはヤマハの技術者が調整修理にお伺いします。
2. 保証書は、サービスにお伺いした時に今後貴重な資料とするため一時技術者がお預りさせていただきます。お預りした保証書は、弊社サービスセンターに送られ、必要事項を記録した後直接お客様にご返送申し上げます。この間、約1週間～10日間程度を要しますが、ご心配なくお待ち下さるようお願い申し上げます。

6. 保証期間後のサービス

満1ヶ年の保証期間が切れますとサービスは有料となりますが、引続き責任をもってサービスをさせていただきます。補修用性能部品（製品本来の機能を維持する為に必要な部品）の最低保有期間は8年となっております。

7. サービスをご依頼になる前に

- コンセントに電気が来ているかどうか、他の電気製品を接続してお確かめ下さい。
- ご依頼いただいたサービスにお伺いした際、故障でないような場合には、点検代と出張経費などの実費をいただきます。

8. サービスのお約束について

- できるだけお伺いする日時を事前にお約束させていただきます。
- 万一お約束した日時がご都合の悪い時には、できるだけ早くサービスをご依頼されたお店にご連絡下さい。
- サービスご依頼後、日時が経過してもなお技術者がお伺いしない場合はお手数でも11ページサービスセンターまでご連絡下さい。責任をもって処理させていただきます。

ヤマハのサービスネット

全国のヤマハ特約楽器店と下記サービスセンターが責任をもってアフターサービスを行っております。

●修理受付および修理品お預り窓口

北海道サービスセンター	〒064	札幌市中央区南十条西1丁目1-50 ヤマハセンター内 TEL (011)513-5036
仙台サービスセンター	〒983	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL (022)236-0249
新潟サービスセンター	〒950	新潟市万代1-4-8 シルバーポールビル2F TEL (025)243-4321
東京サービスセンター	〒101	東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F TEL (03)3255-2241
首都圏サービスセンター	〒211	川崎市中原区木月1184 TEL (044)434-3100
浜松サービスセンター	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL (053)465-6711
名古屋サービスセンター	〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL (052)652-2230
大阪サービスセンター	〒565	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL (06)877-5262
四国サービスセンター	〒760	高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内 TEL (0878)22-3045
広島サービスセンター	〒731-01	広島市安佐南区西原2-27-39 TEL (082)874-3787
九州サービスセンター	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092)472-2134
〔本社〕 カスタマーサービス部	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL (053)465-1158

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA

ヤマハ株式会社

国内営業統括本部	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル3階 学販営業課 TEL.03(3574)9410
北海道支店	〒064 札幌市中央区南10条西1-1 ヤマハセンター 管学販営業課 TEL.011(512)6113
仙台支店	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命青葉通りビル 管学販営業課 TEL.022(222)6146
関東支店	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル5階 管学販営業課 TEL.03(3574)9416
東京支店	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル5階 管学販営業課 TEL.03(3574)9416
名古屋支店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 管学販営業課 TEL.052(201)5166
大阪支店	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館 管学販営業課 TEL.06(252)5341
広島支店	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 管学販営業課 TEL.082(244)3749
九州支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 管学販営業課 TEL.092(472)2155